

一般社団法人日本看護管理学会
「新型コロナウイルス感染症対応から学ぶ看護マネジメント」研修（第3回）

**コロナ禍における大阪府看護協会の活動と
今後の地域における活動と課題**
～現在、そして将来の進行感染症に備える看護マネジメント～

2021年11月27日
公益社団法人 大阪府看護協会
会長 高橋弘枝

本日の内容

- I. コロナ禍における大阪府看護協会の活動
- II. 活動の成果・まとめ
- III. 今後の地域における活動と課題

I. 今こそ看護の専門性を発揮 コロナ禍における大阪府看護協会の活動

【2020年4月～2021年10月迄の取り組み】



このまちの今と未来をつなぐ力に。

大阪府の要請により看護師派遣順次開始

2020年4月7日

第1波緊急事態宣言

2021年8月2日

第5波緊急事態宣言

宿泊療養施設・検体採取対応へのマニュアル作成
看護師確保・労働環境等への対応

2020年4月24日～宿泊療養派遣開始

2020年4月23日～検体採取外来派遣開始

2020年12月1日～大阪重症コロナセンター準備から
本稼働（12月15日）派遣

【2021年4月1日～人材バンクへ変更】

2021年 5月1日～ワクチン接種対応看護師派遣

【マネジャー】

2021年10月4日～大規模医療・宿泊療養センターへ看護師派遣

2020年10月1日～社会福祉等ICN派遣

大阪コロナ重症センター



北海道から沖縄まで全国の看護の力を集結



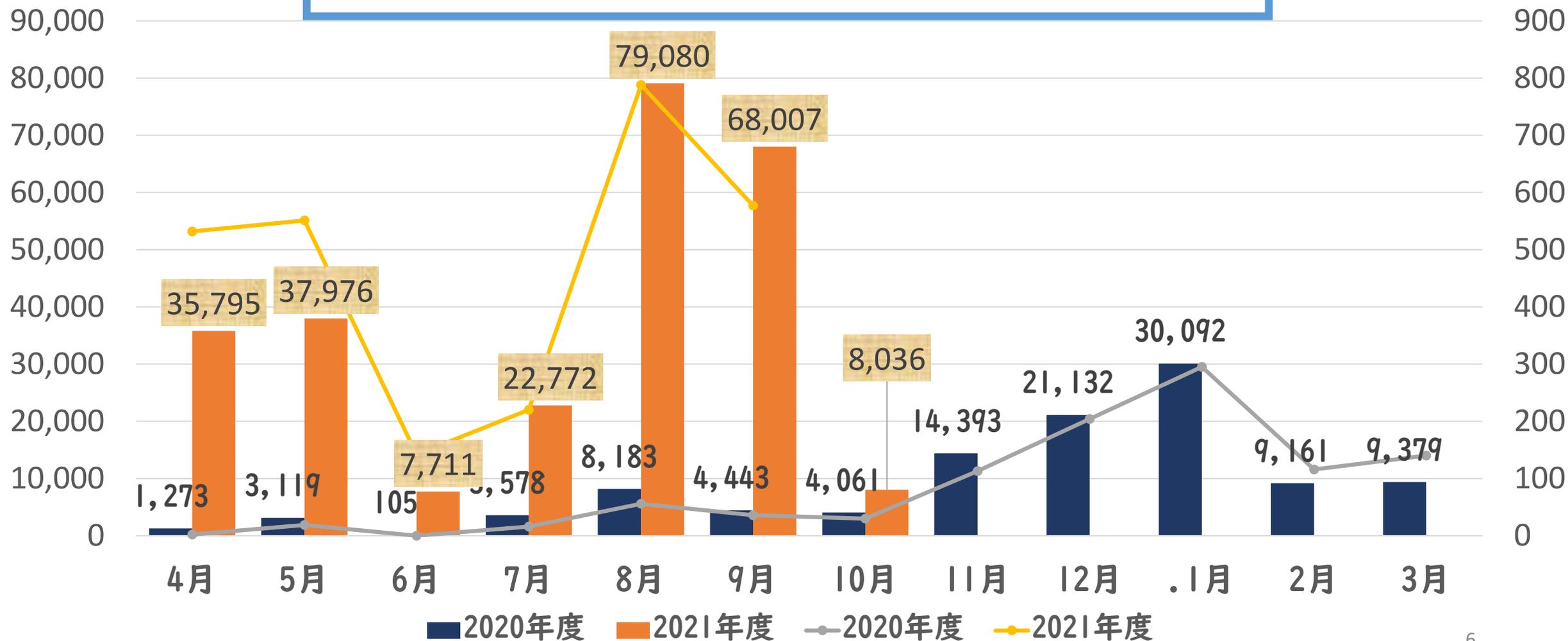
宿泊療養ホテル



採用者オリエンテーション

2020年4月～2021年10月迄の在室人数と救急搬送の推移

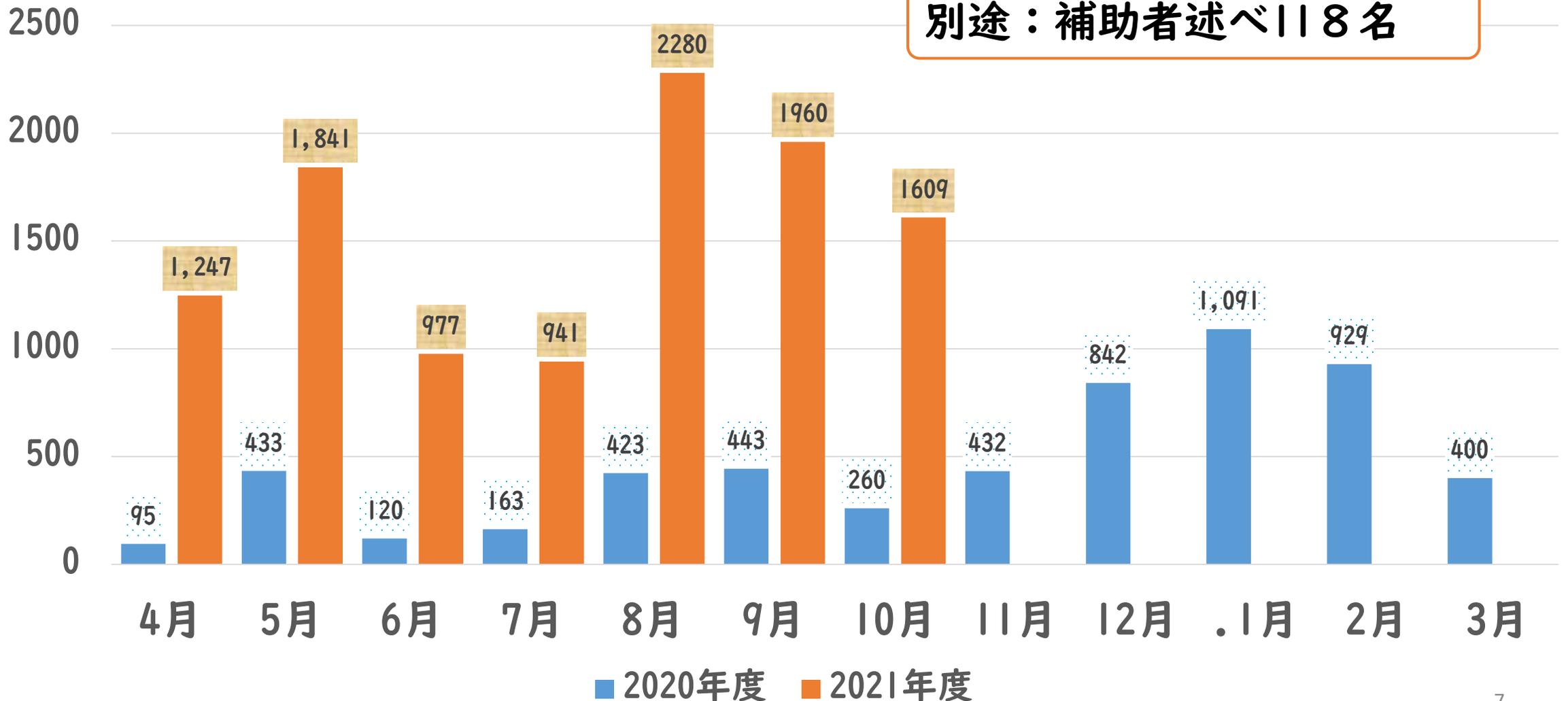
総合計在室延べ数 **368,296名**
 救急搬送数 **3,895名** (救急搬送平均**1.06%**)



宿泊療養対応

2020年4月～2021年10月の看護師派遣延べ数 16,486名

別途：補助者述べ118名



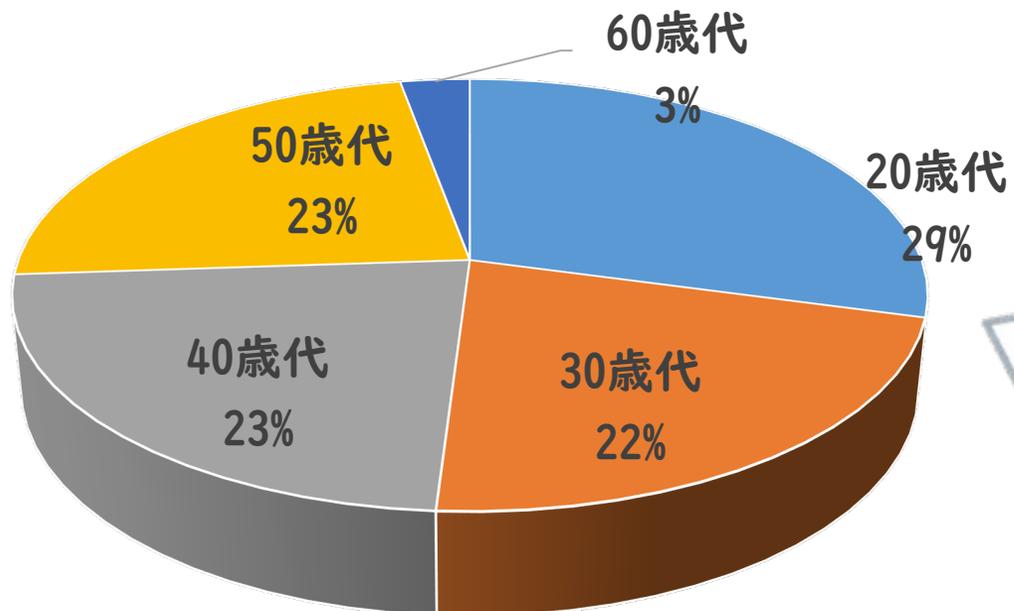
宿泊療養看護師確保・採用状況について

大阪 爆発的な襲来 第4波・第5波

救うことができる命を失うことがないよう看護師確保に全力を！

10月31日現在就業数 323名

男性	26名
女性	297名



募集

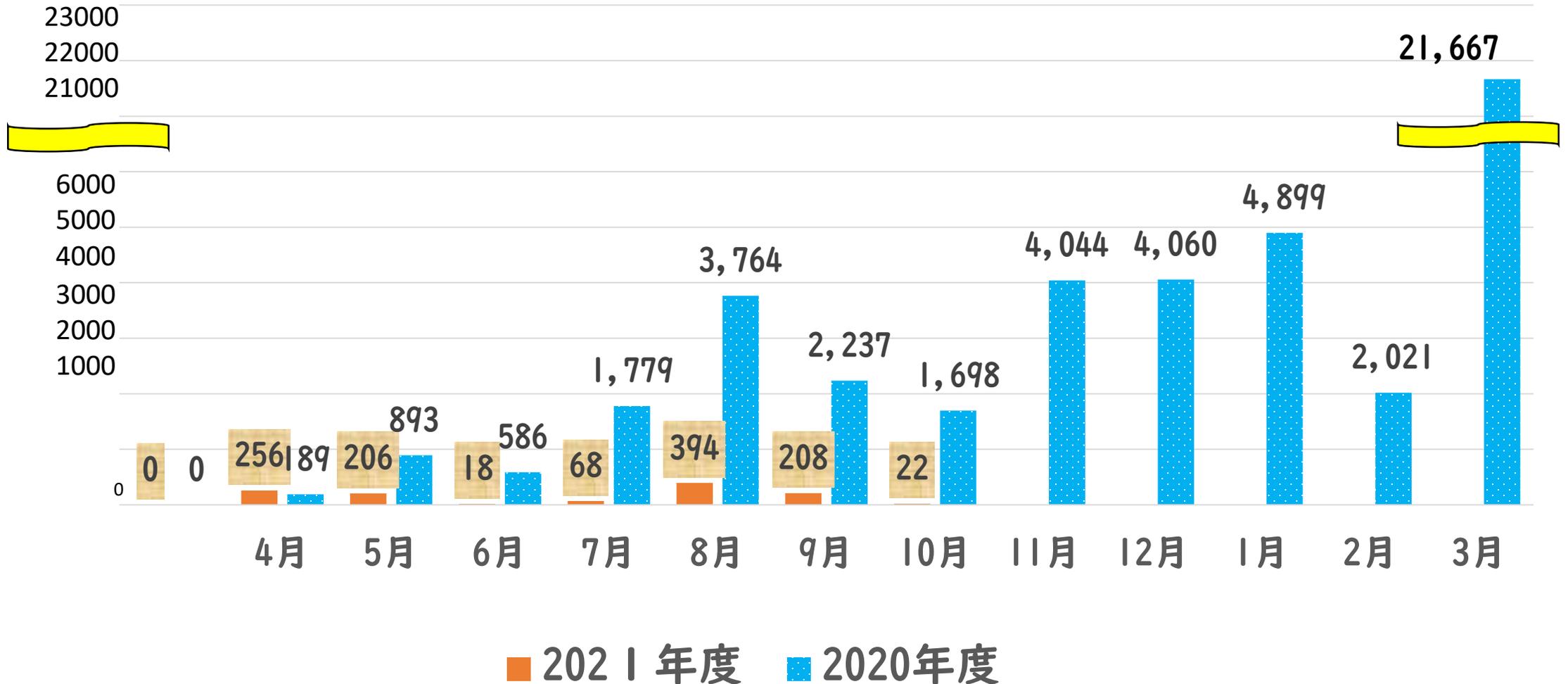
- ・ Hp・facebook/広報誌/理事会/各施設への電話などでの協力依頼
- ・ 個人会員への協力依頼 はがき送付 計4回 (19,733名)
- ・ ナースセンター登録者へ一斉メール 計3回 (12,538名)



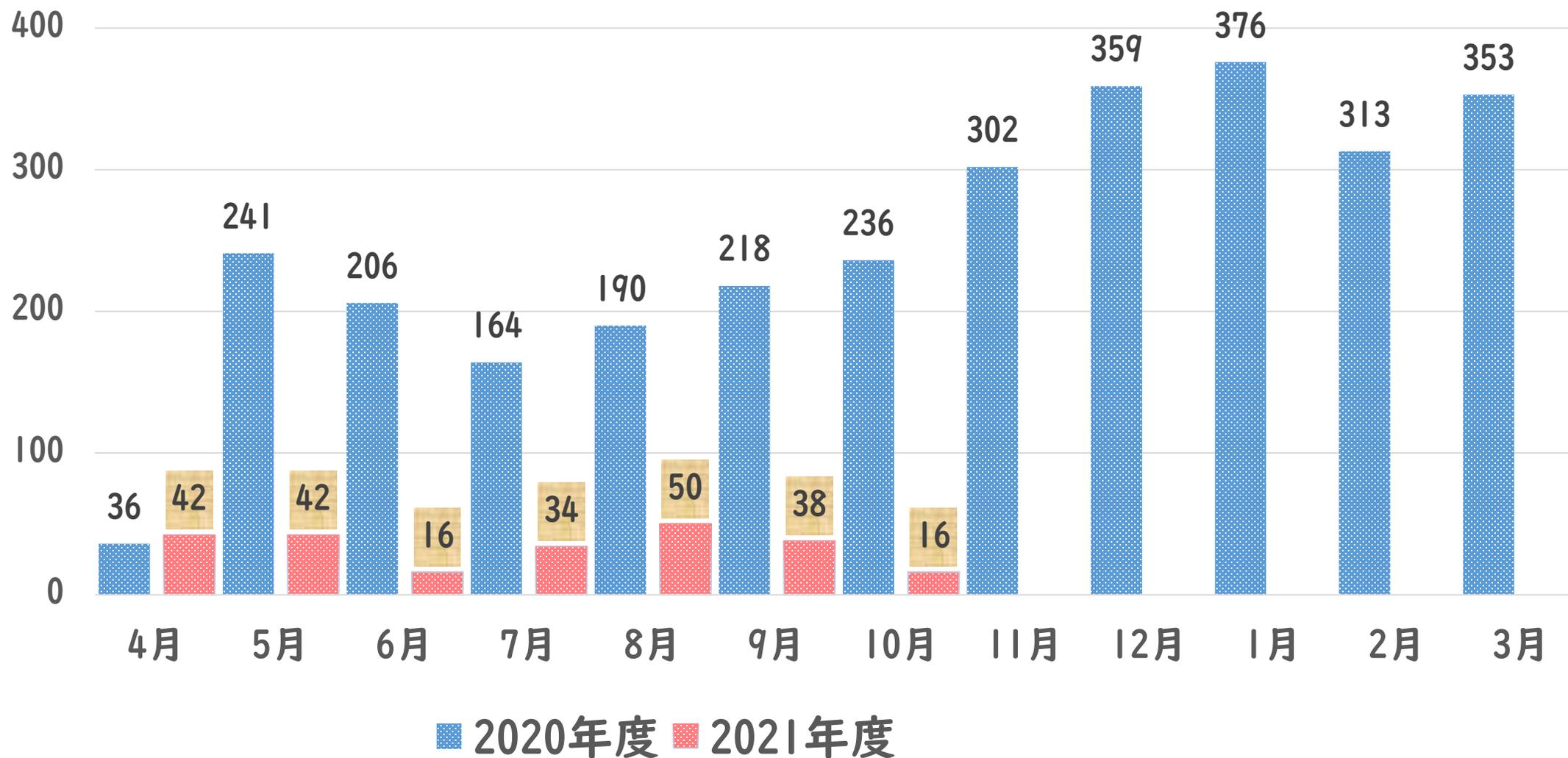
毎日面接・採用・オリエンテーション

検体採取外来2020年4月～2021年10月迄の対応件数

総合計 49,009件



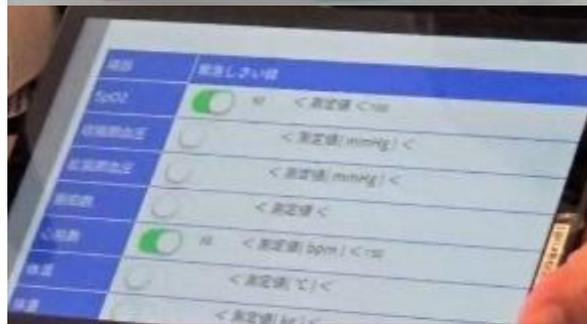
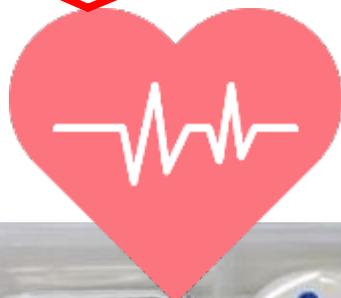
検体採取外来2020年4月～2021年10月迄の看護師派遣 延べ数3,230名



急激な変化に伴う情報共有 判断



値をタブレットに
送信



宿泊療養各ホテルとの WEB会議 医師も参加



- ・入所されている方の声色・息遣い言葉から健康状況を把握、緊急性を見逃すことがないように関心を寄せる
- ・入所されている方の怒り不安、葛藤、悲嘆を受け止め 寄り添うことの大切さをあらためて問う



安心・安全な療養環境 AED
ハートライン・在宅酸素設置

宿泊療養対応看護師奮闘 救う・命



2021年9月1日
最大新規感染者 3,004名

救急搬送の増加！

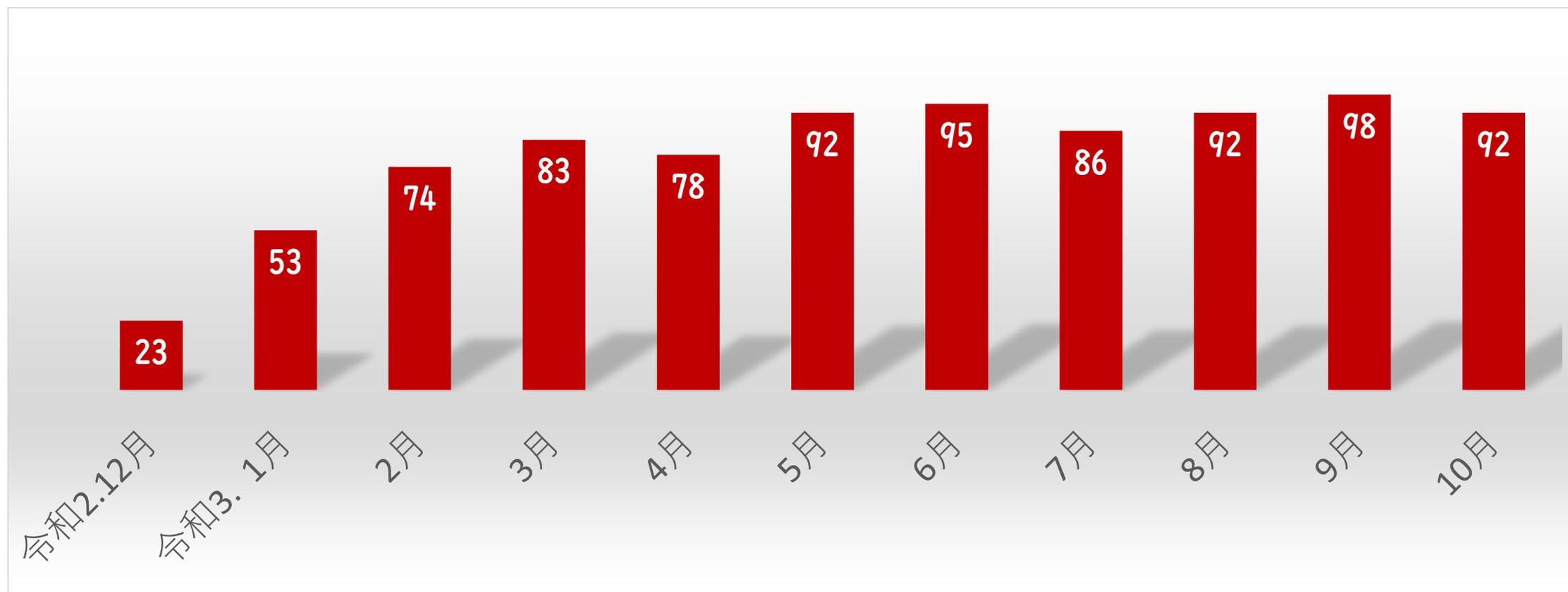
入所者されている方の「大丈夫」の返答もつかの間
あっという間に呼吸状態悪化、看護師の経験に裏付けられた直観力で即対応！

2. 大阪コロナ重症センター



大阪コロナ重症センター 令和2年12月～令和3年10月迄の看護師派遣実数

別途：中等症病院派遣令和3年4月～10月迄5名～3名/月派遣



大阪コロナ重症センター派遣状況



廊下を抜けてCT室へ

クラスター発生病院・
中等症コロナ病院にも
応援派遣



患者さんの状態を電子カルテに入力しています。

第4波重症者急増・高齢者の重症化

3. ワクチン対応、より迅速に始動

2021年3月1日から
講習会開始
吉村知事視察

ナースセクター
ワクチン接種講習会
未就業者の方多数応募



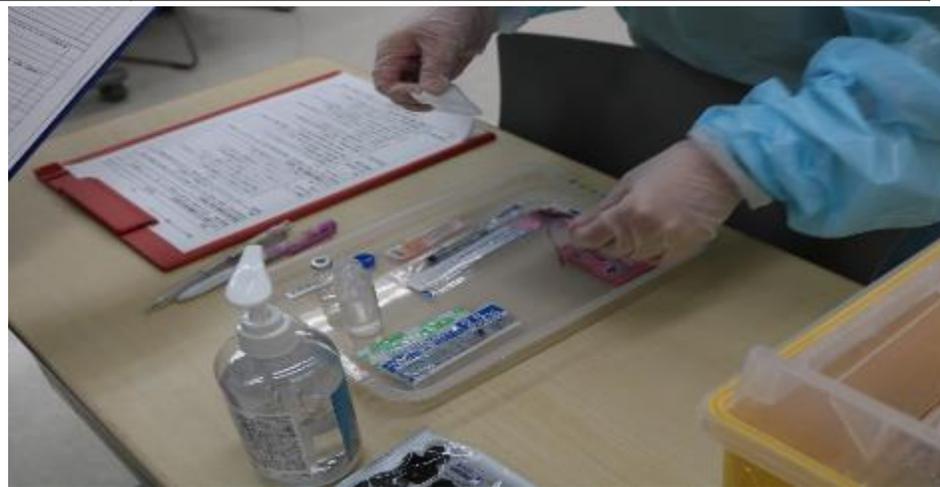
研修後 未就業者の方へ
メディアからインタビュー

ワクチン接種に係る講習会

ワクチン接種を通して多くの潜在看護師1400名復帰

- ・ 講義（協会ホームページでweb受講可能）
- ・ 技術トレーニング（ナースセンターで実施）

講習会申込数	3,929名	2021年3月1日～ 10月31日現在 143回 講習会実施
受講者数 (准看護師)	3,204名 (内127名)	



ワクチン接種対応看護師派遣実績

ワクチン開始以後2021年5月～10月31日現在
看護協会より合計2429名派遣

大規模会場薬液充填

各会場縮小により下記会場へ派遣

・ 東大阪市	2会場
・ 堺市	6会場
・ 大阪市	6会場
・ 大阪府大規模会場	1会場



大規模会場ワクチン接種

ナースセンターから斡旋

11市2町13カ所	112名
職域	103名



【知事重点】 2021年度 社会福祉施設等感染症予防重点強化事業

- ・ 委員会開設
- ・ 訪問 200施設目途
- ・ **リンクナース育成研修**【2021年6月14日～9月90名参加】
- ・ 講義・演習・介護施設へICNシャドウイング研修
終了者に修了証交付・終了者は大阪府に登録
- ・ 登録者はICNと共に施設訪問
- ・ 社会福祉施設向け研修195施設（大阪府庁でweb研修）

- ・ 相談→訪問後
アフターフォロー
(電話・オンライン)

- ・ 特別養護老人ホーム
- ・ 障がい者グループホーム
- ・ 救護施設
- ・ 児童養護施設
- ・ 有料老人ホーム
- ・ サービス付き高齢者住宅



2020年10月～2021年10月22日現在
116施設にICNが延べ226名訪問

訪問先職員への防護服着脱指導

関係団体との連携 安全・安心 質の高い看護の提供のための支援



宿泊料用ホテル抗体カクテル療養開始 8月26日～
副作用の観察に注視

大阪コロナ大規模医療・療養センター
業務マネジメント看護師派遣

抗体カクテル療法について② (医療型宿泊療養施設)

- ◆ 抗体カクテル療法による早期治療を行うことで、重症化を予防し、もって中等症病床のひっ迫を軽減
- ◆ 1か所のホテルの一部を特措法上の臨時的医療施設(医療型宿泊療養施設)とし、試行的に1日20人程度の患者受入を8月下旬に開始



Withコロナ禍での教育・研修（2020年度）

対面・webを組み合わせ受講しやすい環境整備

COVID - 19対応育成に係る管理者研修	3回	235名
COVID - 19感染症対策の基礎を学ぶ	3回	228名
COVID - 19重症患者の看護 （オンラインLive配信）		113名
COVID - 19感染症対策の基礎を学び看護実践に活かす （Live/オンデマンド）		337名
withコロナ時代を生きる看護管理者の心構え （オンラインLive配信）		214名
新型コロナウイルス感染症重症患者の看護従事者研修	4回	145名
COVID - 19ワクチン接種看護師育成研修（3月1日～3月31日）		547名
コロナ禍から大切な人を守る感染対策 （オンラインLive配信）		525名
	合計	2,344名

Withコロナ禍での教育・研修（2021年度）

重症患者対応看護従事者人材育成研修

中等症・軽症受け入れ病院
重症患者に対応を可能とする医療体制
の確保に関する研修

中小規模病院から研修申し込み
92施設505名の応募 433名受講
(内40名大阪コロナ重症センターで演習)



ワクチン接種に関する基礎知識動画配信

新型コロナウイルス感染症に関する研修動画

新型コロナウイルス感染症に関する研修動画を掲載しますのでご確認・ご活用ください。

<2021年3月1日研修資料>

[新型コロナウイルス感染症に関する基礎知識（約27分）](#)

講師：大阪大学大学院 医学系研究科・医学部 感染制御学 教授 朝野 和典 氏

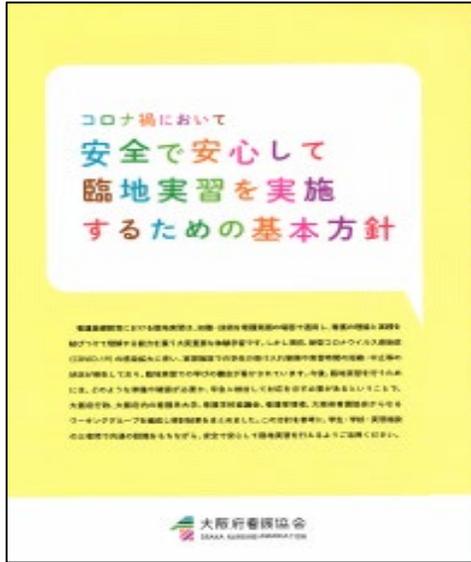
[新型コロナウイルス感染症ワクチン接種についての基礎知識（約28分）](#)

講師：大阪大学医学部附属病院 感染制御部 医員 奥野 英雄 氏

[新型コロナワクチン接種にかかわる看護師の役割（約12分）](#)

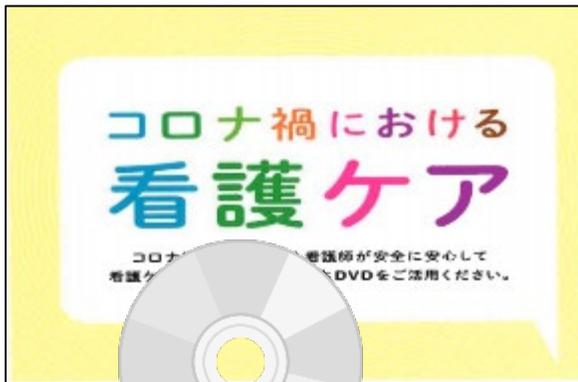
講師：大阪府看護協会 教育研修部 平良 由記子

・安全で安心して臨地実習を実施するための基本方針の策定



学生・学校・実習施設3者間で共通認識し
それぞれが責任をもって安全で安心して臨地実習を
行うために活用

・「コロナ禍における看護ケア」新人看護師 研修DVD作成



新人看護職員だけでなく、中小民間病院の看護職員
研修にも幅広く活用

冊子・DVD配布先

- ・厚労省・日本看護協会・会員施設・47都道府県看護協会
- ・看護学校協議会・府内看護系大学・関係団体など

Ⅱ. 活動のまとめ・成果

決断と実行を支えるもの

- 役員はじめ理事、そして職員の理解と協力、**一丸となって取り組もうという姿勢**
- そのためには、決断に至るプロセスと意義・想定されるリスクを含めて理解してもらえたこと
- 実行において、**状況・情報の共有、説明と理解**が不可欠
- スタッフには**目標・方向性を明確にし、今行っていることがどこに繋がり、どのような成果をもたらすかを指し示すことが重要**
- 何より大きく膨れ上がる事業の必要性を理解し、多少の困難な作業、多大な作業にも前向きに取り組んでくれる**人材に恵まれたことが幸運**

多種多様な事業展開

- 大阪府行政の方々との実際の事業展開においては、感染状況における大阪府民に対して看護職能団体としての役割が明確になり、突き進んできたのが実態
- 踏み込まなければ見えない状況があり、そこから、協会としての役割・行動をいち早く見つけることができた

成 果

- 未就業者の発掘（1400名）
- 事業に参画できていたおかげで、臨床現場の看護職が抱える問題・課題を行政に伝える事ができ、タイムリーに解決策を提案、検討してもらうことができた。
- 職能団体の認知
- ワクチン接種の人材派遣における看護協会の使命感・モラルへの評価等

Ⅲ.大阪府看護協会として 今後の地域における活動と課題

【知事重点】 2021年度 社会福祉施設等感染症予防重点強化事業

- ・ 委員会開設
- ・ 訪問 200施設 目途
- ・ リンクナース育成研修【2021年6月14日～9月90名参加】
講義・演習・介護施設へICNシャドウイング研修
終了者に修了証交付・終了者は大阪府に登録
登録者はICNと共に施設訪問
- ・ 社会福祉施設向け研修195施設（大阪府庁でweb研修）

- ・ 相談→訪問後
アフターフォロー
(電話・オンライン)

- ・ 特別養護老人ホーム
- ・ 障がい者グループホーム
- ・ 救護施設
- ・ 児童養護施設
- ・ 有料老人ホーム
- ・ サービス付き高齢者住宅



2020年10月～2021年10月22日現在
116施設にICN延べ226名が訪問

訪問先職員への防護服着脱指導

大阪府看護協会の当初の構想は？

- 高齢者・福祉施設でのクラスター発生。
- 看護師がいれば！
- 施設入所者に医療が必要でない人はいない。
- いかなる施設でも看護職の必要性はある。人の暮らしのあるところに看護師が必要
- 看護師配置のない施設に看護師配置を！
- コロナ禍で、まずは実績作り

ICNの活躍で看護協会の事業が拡大

- 施設訪問後のアンケートから
⇒WebでのFollow Upミーティング
大阪府福祉部のFAQにコメント
- Web研修会：大阪府健康医療部と大阪府看護協会で195施設に
- 「COVID-19対応早わかりブック」（動画付き）の作成中
年度末には10,000冊を施設に送付予定
- 感染症予防策を実践・推進できるリンクナース養成研修 90名⇒**次年度は！**
- 大阪府からの研修講師依頼
クラスター発生病院等への応援派遣に向けた研修（8回）：健康医療部
新型コロナウイルス患者受入病院清掃業者研修（2回）：健康医療部
新型コロナウイルス感染症に係る社会福祉施設等へ応援職員派遣向け実技研修会（全4回）：福祉部

1. 感染管理認定看護師等の人材活用

- 2020年度からICNの社会福祉施設等への派遣を開始し、今後クラスター発生後再開のための支援等も必要。
- 大阪府下の感染管理認定看護師は159名
感染管理加算1・2をとれている病院はざっくり3分の1
- カバーできない施設から相談できる体制を作る
- ICNに相談できる中小民間病院や福祉施設等で働くリンクナース育成も開始
- 将来的に地域包括ケアシステムの中で支援完結できるような取り組みが必要

2. 真のネットワーク化

- 情報共有だけのネットワークではなく、有事に行動がとれる
ネットワーク
- 大阪府看護協会の人材DBをベースに真のネットワーク構築
現在：感染管理認定看護師等159名
リンクナース養成研修修了生90名
⇒次年度は？
- 行政の支援があれば
⇒社会的に認められた人材
活動を支援し続けてもらう価値ある事業展開
- ネットワークの盤石な体制づくりを目指す

3. 看護人材DBの構築とネットワーク化

- 大阪府看護協会が有する人材ストックを活用し、看護人材DBを構築する（データ数1万人程度）
- 看護人材DBのデータと看護職を必要とする分野とのネットワーク化を図ることにより、最適な人材の確保が可能となる
- ナースセンター事業との連携により相乗効果が期待される

行政と共に取り組む看護協会の事業

- 行政との連携⇒看護協会の役割の明確化・事業化
- ボランティア活動ではなく事業として
- 事業の展開は人材確保⇒人材活用⇒人材育成（研修）
- 今回のコロナ対策でのポイントは人材活用のための研修
当初は**安全・安心**のために必須
その後には更に**質を高める**ために
活用するための研修（重症者対応・感染管理リンクナース）
- 府民への貢献のための行政からの支援
看護活動が府民にもたらす益のための活動であり、
行政はその看護活動に支援する

行政との事業では

- 事業計画の段階での、追加修正
- 事業展開の中で、成果を互いに確認しあい、事業を楽しむこと
- 事業展開しながら、課題が見えてくれば、新たな事業の提案
- 事業が拡大できる要因は？

必要な事業で成果が出ている事

モラルを持った信頼できる専門職

行政と目指す方向（府民を守る）が一致している事

事業展開の過程で、互いに尊重しあえる事

楽しめる事

看護を大阪府内、隅々まで届けるために ネットワーク化・DB化

- 情報共有と活動：情報共有だけのネットワークがあっても、いざというときに活動できなければ！
- 自分たちのネットワークではなく、公共性があること！
- 感染看護認定看護師、コロナ関連の事業に参加できる看護職、看護管理者、災害支援看護師、CN・CNS、未就業の看護職
- 色々なところでの活動が期待できる
- それをみえるようにDB化、広報すること

看護管理者として

- 地域包括ケアシステムの中での病院・施設の立ち位置
- 看護管理者としての動き
 - 柔軟に対応
 - ICUの派遣も今後の連携の礎
 - ICNを派遣するだけでなく、
 - 看護管理者同士の繋がり・相談しあえる関係
- 人的資源の活用を通して、施設・組織間の連携を見直す

大阪府看護協会のモットー

看護の心とパワーで、
大阪を一層ご機嫌な街に！

府民の笑顔と健康を守り、
明るく夢ある未来を創るために
看護の心とパワーで活動してまいります



公益社団法人
大阪府看護協会

ご清聴ありがとうございました

- あらゆる活動の場で働いておられる医療従事者の皆さまに感謝致します
- 笑顔が戻る社会を目指し頑張ってまいります

